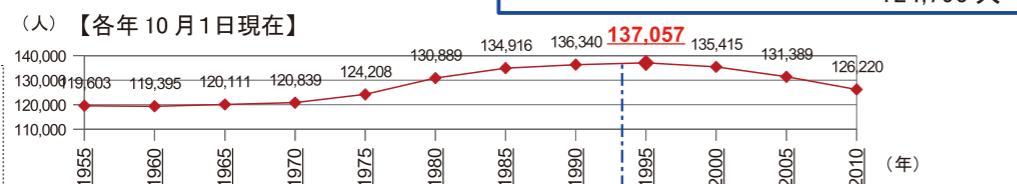
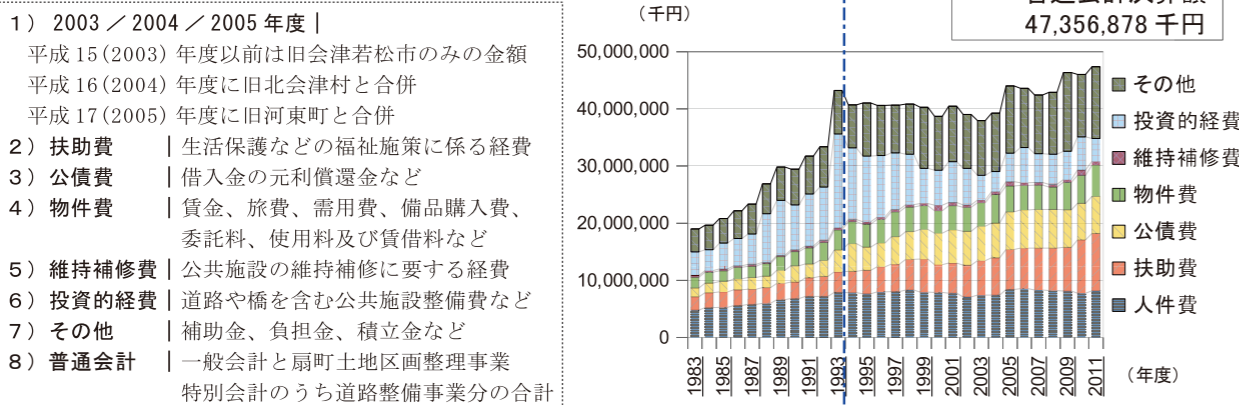


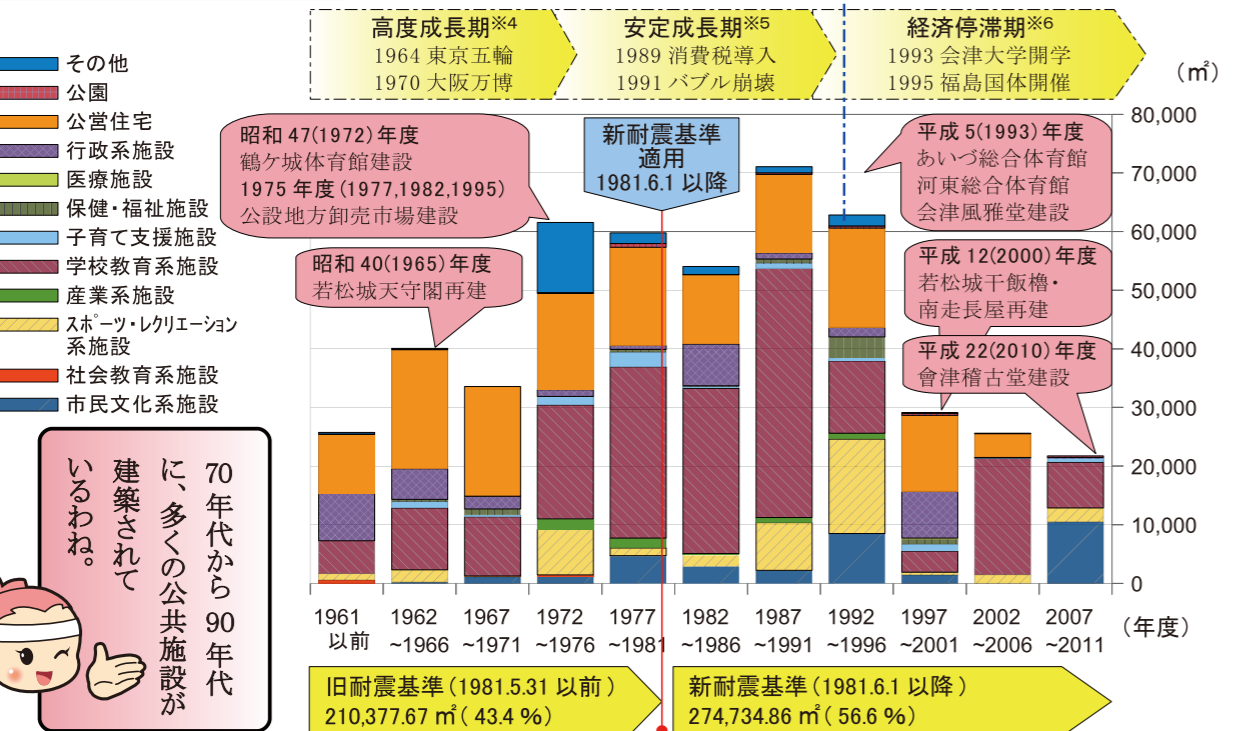
### 人口の推移



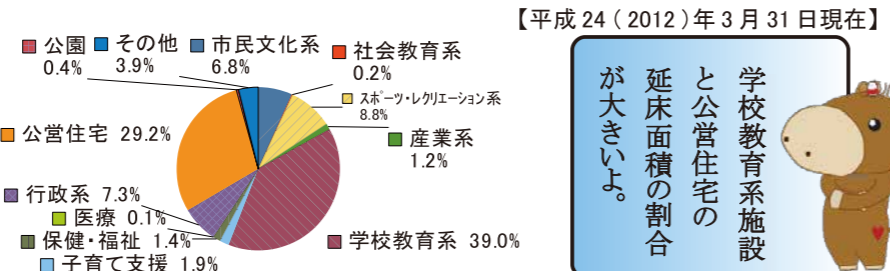
### 歳出の推移



### 公共施設の建築推移



### 延床面積 用途別割合



70年代から90年代に、多くの公共施設が建築されているわね。

学校教育施設と公営住宅の延床面積の割合が大きいよ。

### 公共施設の建築推移等について

つまり、建物ね!!  
では、この白書は、一体、どんなことがわかるの?

対象の公共施設を用途別に分類し、表やグラフを使用して、3つの視点でわかりやすく説明しているよ。

- 【ストック情報(☆)】・建築年次・経過年数・延床面積 など  
☆ 主に物理的な情報を意味します。
- 【サービス情報】・延べ利用人数・施設稼働率・職員数 など
- 【費用(コスト)情報】・現金支出・現金収入・減価償却費 など

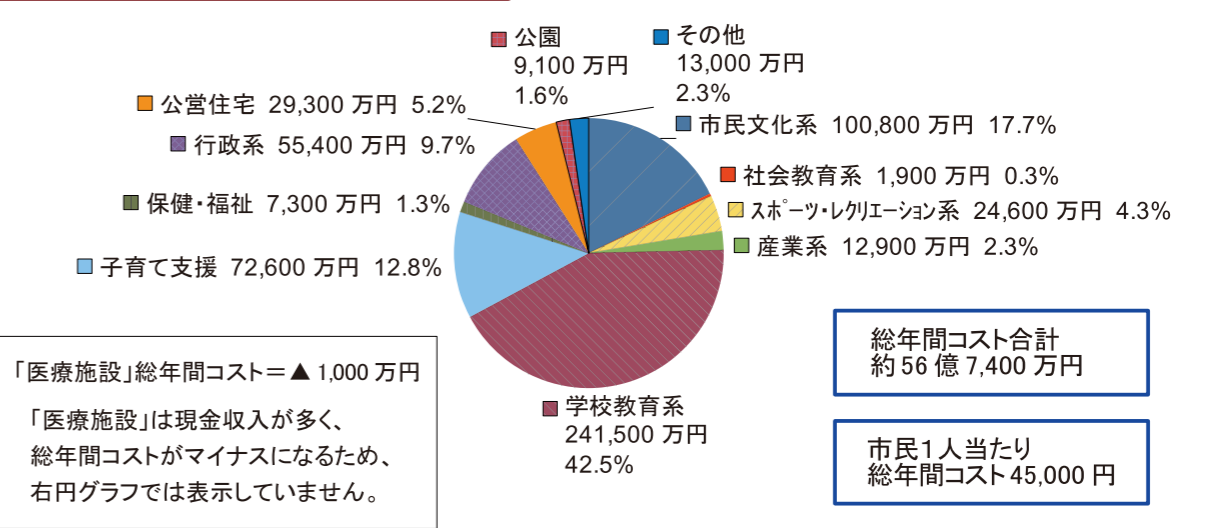
3ページの各グラフを見て! 人口や歳出の推移とともに、公共施設の建築推移や延床面積の用途別割合等がわかるよ。

### 公共施設にかかる費用(コスト)について

結構古い建物もたくさんあるのね!!  
この公共施設の運営や維持管理にどれだけの費用をかけているの?

平成23年度1年間で減価償却費※2を含めた総年間コスト※3は、施設全体で約56億7千4百万円かかっているんだ。市民1人当たりになると約4万5千円かかっていることになるんだ。

### 公共施設総年間コストと用途別割合



上の円グラフを見ると学校教育施設と市民文化系施設と子育て支援施設で約7割以上を占めているのね!!  
じゃあ、となると公共施設はどのくらい利用されているの?

白書(本編)(当資料4ページ最下段で)案内しています。(のなかで、各用途別に利用人数や稼働率などをグラフで表示しているから、ストック情報やコスト情報とともに、ぜひ白書(本編)を見てね。

※4 高度成長期…1955年から1973年まで。 ※5 安定成長期…1973年から1991年まで。バブル期含む。  
 ※6 経済停滞期…不況期(1991年～2002年)、景気拡張期(2002年～2008年)、リーマン・ショックから現在まで(2008年～)

※2 減価償却費…通常、市の会計では計上しない資産価値の減耗額を意味します。  
 ※3 総年間コスト…現金支出ー現金収入+減価償却費